

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年5月8日

事業所名 児童デイサービス 福すけ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	1階と2階を利用して環境の切り替えが必要な際、スムーズに場面の切り替えができています。	1階と2階の連携が取りやすいようにインカム等の使用により確かな連絡がとれるようになっている。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	特にサポートが必要な児童が利用の際には、スタッフを増員するなどしている。	法令に基づいた基準の人員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	階段には手すりを設置している。段差には、テープを貼るなど工夫している。	大きな段差解消の為、スロープ等の設置を検討している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	研修の実施や日々の振り返りを行い、適切な支援を行えるように情報共有している。	スタッフ間で、深く議論できるまでに至らなかったりしている。発言しやすい環境づくりや組織として業務を遂行しているという意識改革が必要かと思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者様の評価表での意向や支援の内容についてのご意見を業務改善につなげている。	保護者会や障害がない子供との交流に関しては、望まれないご家庭が多く、交流に関しては、慎重に検討する必要がある。ご利用児童に対する支援に関しては、アンケートの結果をもとに改善実施を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		ホームページに公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		第三者による外部評価は行ってない。今後は検討の必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	事業所内の研修として年間研修予定表を作成し、各種の研修を行っている。	事業所内の研修のみでなく、講師を招いての外部研修の実施・療育センターの基礎研修、新入職者に対する研修を行い職員の資質向上に取り組んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	定期的に保護者様との面談を実施し、適切な支援計画書を作成している。	定められた支援提供の流れに従い、児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	7	独自の記録やスタッフ会議での資料を基に作成している。	標準化されたアセスメントツールがないため、独自のツールを作成する必要があると考える。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	ミーティングで話し合い、児童の特性を考慮し決定している。	立案はミーティング時にしている。営業時間の長短により活動の内容を協議している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	スタッフが意見を出し合い、多様なプログラムを立案している。	ミーティング時にディスカッションしプログラムが固定化されないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	当日の状況に応じて決めている。	前もってスケジュールは決定しているが、当日の状況・児童の様子を把握し、当日最終決定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	日々の様子から個々にあった計画を立てている。	保護者様からのご希望とご家庭の様子・日々のデイサービスでの様子を加味し計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	当日、確認している。	当日、ご利用児童の確認・業務の流れ・スタッフの動き・留意事項等の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	送迎後、保護者様からの連絡や気が付いた事の報告をしている。	保護者様からの連絡や気が付いた事を報告し「気づき」のノートに記載している。休みだった職員への連絡と支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	独自の様式ではあるが、日々のケース記録として書き留めている。	気づきのノートやケース記録から、情報を共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的にモニタリングを行い、見直しをしている。	定められた支援提供の流れに従い、児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成している。日々の様子から支援内容の変更が必要であると判断された場合には、見直しをして計画を変更している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	基本活動を複数組み合わせ支援を行うように努力している。	基本活動を複数組み合わせ支援を行うように更に努力していく。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	7	相談支援事業所のサービス担当者会議の連絡がない。	障害児相談支援事業所のサービス担当者から、該当児童の様子について電話での聞き取りはある。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	学校からの情報はいただけていない。	学校お迎え時、こちらから学校での様子をお伺いした際には、当日の様子など情報をいただける。放課後デイサービスの利用の有無についての連絡調整は円滑に行われている。

関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	医療的ケアが、必要な子どもを受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	7	情報共有と相互理解はできていない。 相談支援事業所を利用されている方は、相談支援事業所を通じての情報共有はできている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	7	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合情報依頼はない。 障害福祉サービス事業所等の情報共有は、必要と感じている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7	新入職の社員は受講させていたが、コロナ感染防止の為、受講を取りやめていたが、受講の必要性を感じている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7	保護者様が必要と思われる方は、少数である。 災害時等地域との連携が必要とされるためのために、必要と感じているが、現実的なこととしては難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	交野市の連絡協議会に参加している。 交野市の児童デイサービス連絡協議会に参加し、他事業所と情報共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	ご自宅来迎時に、直接お話をさせていただいたり、連絡帳を使用し情報共有している。 ご利用児童様の療育の方向性に齟齬がないか確認ができている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	ペアレント・トレーニング等の支援は行ってない。 障害の理解、専門的な知識を得ることが望ましいと考えているため、ペアレント・トレーニング等の研修を実施する必要性を感じている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に、説明させていただいている。 契約時以外、お尋ねいただいた際には、ご説明させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	ご相談を受けた際には、迅速に対応させていただいている。 ご相談を受けた際には、迅速に対応させていただいているが、ご相談内容によって専門性を必要とする場合には、専門機関を紹介させていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	保護者会などを、必要とされる保護者様が少数であるため保護者会の代替として事業所での研修会の参加等の声掛けをさせていただいている。 今後も、外部講師を招いての研修会を開催し、保護者様の御都合および保護者会の代替として想定している。交野市の親の会への参加はコロナ禍であった為参加を見送らせていただいていた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情相談窓口を設置している。 苦情相談があった場合はマニュアルに従い迅速に対応させていただいているが、判断が難しい場合には、市や大塚府に指示を仰ぐようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	会報等は発行していないが、活動概要や行事予定を配布させていただいている。 定期的な、ブログの更新を予定している。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付きの書庫に管理している。 個人情報の取り扱いには、厳正に対処している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	個々に応じた意思の疎通や情報伝達を行っている。 重要事項説明書・契約書は、拡大版・ルビを振ったものを使用し、個々に応じた意思疎通や情報伝達に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	一部の地域住民の方との関わりがある。 災害など地域の方々との連携が必要な場合もあり、地域の方々との関わりの必要性を感じている。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	保護者様への周知徹底はできていないため、個別支援計画書の見直しで面談に未所された時などの機会を使いご覧いただいている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	避難、救出その他必要な訓練を行っている。 ご利用児童様には月に1度実施させていただいている。職員対象として、一年に1度実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止委員会を整備し、研修の実施をしている。 行政からの資料・マニュアルを資料として研修を実施している。虐待についての理解を深めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	身体拘束適正化委員会の整備・指針・マニュアルを作成し保護者様と協議し決定している。 行政からの指導を基に研修をおこない、身体拘束についての知識を深めている。身体拘束が必要になったときには、保護者様と協議の上、個別支援計画書に身体拘束の必要性について記載し、個別支援計画書にサイン、捺印をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	7	医師の指示書はいただけない。 医師の指示書に基づく対応は現在までない。保護者様からの調査書で確認させていただいている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハット事例集を作成している。 一年に一度、ヒヤリハットの振り返りを行っている。カギのかかる書庫に保管している。	